



ガバナー月信

UNITE
FOR
GOOD

Rotary International District 2550 tochigi

2025.9.1 発行

CONTENTS

ガバナーメッセージ Sequence 01

クラブ紹介 Sequence 02
[大田原RC] [大田原中央RC]
[西那須野RC] [黒磯RC]

第21回 高校生 RYLAセミナー報告 Sequence 03

新入会員/お知らせ Sequence 04

地区大会のお知らせ Sequence 05

地区大会の概要 Sequence 06

コーディネーターニュース Sequence 07

2025年7月会員数報告 Sequence 08



R.I.D 2550 tochigi
Facebook QR

Sequence

01 ガバナーメッセージ

「ロータリーの友」購読の義務と意義

～ロータリアンとしての基本を見つめ直す～

新年度を迎えて

新しい年度が始まり、早くも2か月が過ぎようとしています。各クラブでは新体制のもと、それぞれの活動が軌道に乗っていることでしょう。ロータリーの仲間とともに、充実した奉仕活動を楽しまれていることと思います。

9月は、国際ロータリーが定める「基本的教育と識字率向上月間」であると同時に、日本独自のテーマである「ロータリーの友月間」でもあります。

この機会に、公式地域雑誌「ロータリーの友」の購読義務とその意義について、改めて考えてみましょう。



購読義務について

「ロータリーの友」は、国際ロータリー日本事務局が発行する唯一の公式地域雑誌 (regional magazine) です。日本のロータリアンは、以下の理由により購読が義務づけられています。

- 標準ロータリークラブ定款第15条により、「クラブは、RIが認定する地域雑誌をすべての会員に配布する」ことが義務とされています。
- 日本においては、「ロータリーの友」が唯一の認定雑誌であり、すべての会員が購読対象となります。
- 各クラブは、会員1人あたり毎月1部を購読・配布する責任があります。

購読の意義

1. 情報共有と一体感の醸成

全国のロータリー活動や各地のクラブ事例を知ることで、ロータリアンとしての視野が広がり、地区やクラブを超えた連携や共感が生まれます。

2. ロータリー理念の理解と深化

RI会長やガバナーからのメッセージ、専門家の寄稿などを通じて、ロータリーの理念や歴史への理解が深まり、「奉仕の理想」を日常の活動に反映させることができます。

3. クラブ活性化のツールとして

例会での卓話や委員会活動の素材として有効に活用できます。また、記事を基にした意見交換により、会員間の交流や対話も活発になります。

4. 新入会員の育成に

ロータリーの全体像を知るための継続的な教材として、新入会員の理解促進に役立ちます。疑問や不安を和らげ、クラブへの定着を助けます。

結びに

「ロータリーの友」は、単なる会報ではありません。

学び・つながり・成長するための“共通言語”であり、ロータリーの精神を日々の活動に取り入れるための大切なツールです。

購読は義務であると同時に、ロータリーの真髄に触れる貴重な機会でもあります。

すべての会員の皆さまに、積極的な活用をお願い申し上げます。

国際ロータリー第2550地区

ガバナー 二十二 修 (宇都宮北ロータリークラブ)

Sequence
02 クラブ紹介

[大田原ロータリークラブ]

今年度は、二十二ガバナーのご指示により、月信での公式訪問報告に代えて、各クラブの紹介を掲載することになりました。公式訪問報告より良いコーナーになることを願っています。

さて、当クラブは県北に位置する第1グループ4クラブの中で最も古いクラブ(黒磯RCと同年度創立ですが月の差です)で、1960年7月11日の創立です。

地区のクラブの統計、その他の発表等では、いつも当クラブが最初になります。それ故、当クラブはしっかりしなくてはなりません。

私が入会した40年前には63名の会員がおりましたが、現在はその3分の1を下回っている状態で活力がなくなっています。私がガバナー補佐だった10年前には、第1グループは7クラブありましたが、今年度黒羽RCがなくなり4クラブになってしまいました。現在、当クラブと大田原中央RCの合併の話が出ており、次年度から第1グループは3クラブになるかも知れません。会員減少がクラブ減少まで引き起こしてきています。

昔から、古い家柄は物静かでおっとりしていておおらかと言われていますが、我クラブもそんなところがあり、第1の特徴は物静かなクラブと言えます。今はなき先輩方には余計なことや出過ぎたことをしないこととよく言われたものでしたが、やっと創立55年で初の長嶋ガバナーを輩出し、活気が出てき始めたらコロナ禍に襲われ4年間のうちに会員が減少し、元の静かなクラブになってしまいました。



【社会奉仕活動】44回野球大会

そんな中でも永い歴史に支えられて「大田原RC旗争奪社会人野球大会」は44回を迎え、また、「大田原市小学校女子ソフトボール大会」や「近隣中学校バスケットボール大会」の主催も継続しています。

貧困国への衣料品や医療機器、歯ブラシ等の寄付も最古参会員が主体となって続けています。市内新1年生の交通安全のために黄色いランドセルカバーの寄贈も続けることができています。

米山記念奨学会、ロータリー財団への寄付も永年100%以上の実績は自慢していいことと思っています。

来年度大田原中央RCとの合併が成立し、今年度3名以上の会員増が成されれば、35名くらいのクラブとして活力に満ちた、元気で楽しいクラブづくりができると思っています。



【通常例会】誕生祝い



【移動例会】鮎例会

大田原ロータリークラブ

2025-26年度会長 蜂巣 貞美

幹事 潮田 賢治

[大田原中央ロータリークラブ]

大田原中央RCは大田原市を拠点として活動しております。当RCのモットーは「楽しくなければロータリーじゃない!」としており、クラブ内や例会・活動事業の雰囲気はアットホームで、少数精鋭ではありますが、老若男女、分け隔てなく、皆が楽しみながら活動しております。

◎会員数17名(男性21名 女性1名)

◎平均年齢63.24歳(最年長79歳 最年少41歳)

◎例会開催 月2回(木曜日開催 昼間例会1回 夜間例会1回)

◎例会内容:会員誕生祝い・会員夫人誕生祝い・結婚祝い、会員卓話、誕生月卓話、会員県議・市議から議会報告、出席者全員スピーチなど



理事会風景

クラブでは以下の奉仕活動など行っております。

○社会奉仕「ザゼン草群生地清掃活動」

大田原市北金丸にある“大田原市指定天然記念物ザゼン草”の群生地清掃活動を年3回(1月, 6月, 10月)行っており、2月から3月にかけて綺麗な花を咲かせております。

○青少年奉仕「小学生女子ソフトボール大会主催」

大田原市内の小学生女子ソフトボールチームを対象とした当クラブ主催の大会を行っており、毎年8月開催、今年で30回目となります。

○社会奉仕・青少年奉仕「大田原市民剣道大会協賛」

大田原市民を対象とした剣道大会を協賛しており、小学生剣士からベテラン剣士までが腕を競い合っています。毎年10月、今年38回目。

○ポリオ撲滅キャンペーン「大田原市 与一まつり 出店参加」

ポリオ撲滅キャンペーンの一環として大田原市「与一まつり」に出店参加し、ポリオ撲滅への啓蒙活動や募金活動、飲食物も販売し益金を寄付しております。

○親睦活動「親睦ゴルフコンペ」「親睦旅行」「家族会大忘年会」など

親睦活動では会員家族も参加し、ゴルフや旅行、忘年会を楽しんでおります。

特に忘年会では豪華景品の当たるビンゴ大会を行い、好評を博しております。



ポリオ撲滅



小学生女子ソフトボール大会

以上、クラブ紹介となります。

会員数の減少や例会参加率の低下など不安要素もありますが、会員皆でクラブを引き続き盛り上げて行きたいと思っております。今後とも皆様方からのご指導ご鞭撻の程、宜しくお願い致します。

大田原中央ロータリークラブ

2025-26年度会長 小川 典重

幹事 富塚 保

トップページへ
戻ります



〔西那須野ロータリークラブ〕

西那須野ロータリークラブは2550地区第一グループ所属で1971年11月に創設し、今年2025年に54年目を迎えるクラブです。会員数は男性40名、女性3名、合計43名です。

1980年代にはフィリピン・パラニアックRC、韓国・東水原RC、台湾・桃園RCと姉妹クラブの締結をし、国内においては近年、新座RC、郡山安積RC、茂原中央RCと友好クラブの締結をしております。締結45年を迎えるパラニアックRC、36年を迎える東水原RC、40年を迎える桃園RCとは長く交流をしており、互いにグローバル補助金を利用して多くの事業に貢献しております。フィリピンサンゴの絶滅防止事業、台湾の移民の方への移民言語7つの教材と教師研修、山岳地域への移動診療車の提供など毎年、事業を行っております。周年で互いに行き来する関係で、桃園RCに至っては本クラブ益子浩会員が「名誉会員」に仰せつかるなど深い関係を保っております。地域の大きな事業



パラニアックRCサンゴ保護

として毎年「養護園、養徳園」の子供100名を那須動物王国へ招待しアニマルセラピーをとおして心のケアを図り、将来への青少年の育成に努めております。また世界中から集まる海外の方へ農業指導者の育成をしているアジア学院では、次世代を担う地球市民である中学生のボランティアを募り、アジア学院収穫感謝日に協力事業をとおして同様に青少年育成に努めております。次年度は46年ぶりのガバナー輩出、55周年を迎える年とのこともあり、友好クラブ、姉妹クラブ、会員も含めさらなる友好関係をすすめ、全会員が団結して事業を成功させてまいります。

今年度のRI会長のテーマ「よいことのために手を取りあおう」、2550地区テーマの「ロータリーは人づくり、友情を育む」、西那須野RC会長テーマ「クラブ創設の原点をみつめ前進しよう」を全会員で理解し事業を継続してまいります。



桃園RC診療車贈呈

西那須野ロータリークラブ

2025-26年度会長 月井 美好
幹事 田原 直之

[黒磯ロータリークラブ]

2025～26二十二修ガバナー年度、黒磯ロータリークラブ第66代会長に就任しました安藤譲治と申します。簡単ですが、黒磯ロータリークラブの紹介をさせていただきます。

黒磯ロータリークラブの特徴は？と聞かれて最初に思いつくことは、とにかく出席率が良いということです。年間の出席率は90%前後であり前年度は97%でした。皆さんの様子を見ると、義務感で出席しているというよりは、来て皆の顔を見ながら話しをすることを楽しんでいる感じです。

また創立は、宇都宮ロータリークラブをスポンサークラブとして1960年9月17日に発足しました。今年で65周年を迎えます。70周年に向けて予算を節約するために、記念誌の発行や内輪での式典を計画中です。

奉仕活動に関しては、黒磯高校インターアクトクラブのホストクラブにもなっている事と、財団地区補助金なども学校関係や子ども食堂に対しての支援がほとんどで、青少年奉仕に力を入れているクラブです。また、今回「24-25年度ガバナー賞」を受賞することが出来ました。継続事業として那珂川源流の水質調査を2006～07年度より20年近く実施しています。途中天候不良やコロナ過で実施できない年もありましたが、継続してやってきて良かったと思います。

黒磯ロータリークラブの現在の課題ですが会員増強です。25年程前は最高の69名でしたが前年度末は32名になってしまいました。そのため財政状況も厳しく、今まで当然のようにやってきた奉仕活動が出来なくなっています。昨年より始まった3年度クラブ行動計画で、青少年奉仕に力を入れていくことをクラブの目標にしますが、財政的に余裕を持って活動するためにも会員40.名を目標にする必要があると考えています。現状を考えるとすぐに40名は難しいですが、毎年純増2名を確実にしていけば出来ることなので、今年度はなんとしても純増2名を実行していきたいと思えます。前年度末で会員32名でしたが、継承会員と共に新入会員の入会が決まり2名増になって、8月1日の会員数は34名になっています。あと1～2名の入会を目標に頑張っていきます。

黒磯ロータリークラブ

2025-26年度会長 安藤 譲治
幹事 金澤 弘子



点鐘



黒磯RC例会風景



懇親会

トップページへ
戻ります



Sequence

03 第21回 高校生RYLAセミナーを開催して

第2550地区高校生RYLAセミナーを6月8日(日)に宇都宮文星女子高等学校を会場に開催いたしました。今回で21回も迎えることができました。

市田ガバナー8時35分点鐘に続き冒頭あいさつによる温かいお言葉を頂き毎年恒例の模擬国連のスタートです。夕方までの長い1日の始まりです。

今年の議題は「移民問題」国際移住と開発でした。世界のあらゆるところ紛争や自然災害で難民問題や移民問題をかかえる国々に焦点をあてこのテーマにしました。

今年も日本模擬国連の運営する大学生インストラクターが国連存在意義などを話して頂き大学生3名のリードで開催しました。



第2,550地区の各ロータリークラブより推薦を受け参加した高校生には、セミナー始まると同時に国別割にて自分の担当する国のスタンスペーパーをもとに、自国の立ち位置他国の状況を調査開始します。自身の知識と情報を(ウェブでの検索等も可能)じっくりと自国の国益を探ります。

昼食後の午後から議長を介して各国大使が意見を発言、他国の意見も聞きながら交渉相手となる国を探します。

次の段階では、各国自由に他国との交渉にのぞみます。難民と移民問題の違いにより交渉も違いますし自国の今に内情による受け入れの違うことなどお互いの妥協点を見つけながら交渉を続けます。

最後に参加国全体での採択を行い終了します。



今回も、「積極性」「考察力」「発言内容」それぞれに優れた大使にアワードを用意しました。模擬国連インストラクターがセミナー中にそれぞれに優れた受講生を選出その理由を発表しながらの授賞式では、受講生のうれしそうな表情が印象的でした。

毎年来場時には不安そうな表情の受講生も多くみられましたが、交渉のポイントなどを的確にアドバイスし、議場が盛り上がるよう誘導してくれた模擬国連インストラクターのおかげもあり、リサーチ、交渉と時間の経過とともに、積極的に明るくなってゆく様子が見られました。

今回はお忙しい中市田ガバナーにも終日模擬国連受講生学生の奮闘ぶりを見て頂き総評も頂くことができました。

セミナー後のアンケートでも、交渉の難しさ、発言時の恥ずかしさなど消極的な部分が、セミナー後半には積極的になれたことや、楽しさに変わったなどの声が多く、委員会一同、開催してよかったと思える一日でした。

RYLA(ロータリー青少年指導者プログラム)とは、ロータリークラブまたは地区が実施するプログラムで、若い人たちが新しい友人をつくり、楽しみながらリーダーシップのスキルを磨きます。

第2550地区RYLA委員会では、今後も「高校生RYLAセミナー」と社会人向け「一般RYLAセミナー」を通して、若い方たちが地域のリーダーを目指すきっかけとなり、交流をもってもらえるよう委員会一同、各種プログラムを用意して活動していきたいと思います。

2025-26年度の今年も昨年に引き続きは栃木県の新施設『栃木JIMINIE倶楽部自然の家みかも』で一般RYLAセミナーを11月8日(土)~9日(日)に一泊二日で開催予定です。

18歳から30歳までを対象としております。ロータリアンの皆様の企業の社員やご家族、大学生、専門学校生など、将来リーダーとなって活躍してほしい若者のご推薦をお願いいたします。

最後に、開催にあたりご協力いただいたロータリアンの皆様、学校関係者の皆様、ありがとうございました。

国際ロータリー第2550地区
RYLA委員長 長谷川 博夫



【新入会員紹介】



栃木 RC

(株)フットワーク
代表取締役

森田 裕男

(もりた やすお) 2025.7.1入会

歴史と伝統ある栃木ロータリークラブ
に入会させていただきます。



栃木 RC

(株)栃木銀行 栃木支店
支店長

佐藤 一彦

(さとう かずひこ) 2025.7.1入会

歴史と伝統のある栃木RCに入会させて
頂きます。よろしくお願いします。



栃木南 RC

(株)NKサポート
代表取締役

太田 和男

(おおた かずお) 2025.7.3入会

よろしくお願いいたします。



栃木南 RC

小林建具店
店主夫人

小林 ツヤ子

(こばやし つやこ) 2025.7.3入会

よろしくお願いいたします。



今市きぬ RC

(有)阿久津工業
代表取締役

阿久津 良久

(あくつ よしひさ) 2025.7.15入会

よろしくおねがいします。



栃木西 RC

(株)フォレストフォーシーズン
取締役総支配人

金子 信夫

(かねこ のぶお) 2025.7.8入会

よろしくお願いいたします。

地区内・外 主要行事予定

▶ 地区ホームページへ

送金カレンダー

▶ 地区ホームページへ

クラブ定例報告カレンダー

▶ 地区ホームページへ

例会場/事務所一覧

▶ 地区ホームページへ

ガバナー公式訪問日程表～お願い～

▶ 地区ホームページへ

地区組織図

▶ 地区ホームページへ

(公財)ロータリー米山記念奨学会ニュース

▶ 「ハイライトよねやま」へ

ロータリー文庫

▶ ロータリー文庫へ

Rotary Club of Japan Japan Rotary Clubs Library

文庫通信 393号

ロータリー文庫

文庫通信 393号：ポリオ

「記事抜粋『私の履歴書(第18回) 国際政治(ポリオ)』尾島茂(結核予防会理事) / 日経新聞 2025.3.29/1P

「ポリオ根絶への道—これまで、これから—」尾島茂(結核予防会理事) / (D.2760 地区研修協議会) / 2025/8P

「ポリオとロータリーと私」陣邊慶博 / (D.2580 地区大会) / 2022/8P

「ロータリー活動から学ばせろ」松本祐二 / (D.2580 地区大会) / 2022/14P

「バキスタンでの予防接種活動(「世界でよいことをしよう」財団ワークショップより)」

高柳育行 / (D.2510 地区大会) / 2023/3P

「エンドポリオサイクリングチャレンジについて」宮崎陽市郎 / (D.2580 地区大会) / 2023/4P

「ロータリー研究会資料 第4セッション(世界ポリオデーイベント事例)」ロータリー研究会/2024/64P

※参考訳はR非公式であり、私的訳またはAI訳のため正確ではないこともございます。あくまで参考として「公式英文書」ご理解の一助としてご利用ください。なお、該当PDFファイルの末尾(-2.pdf)が参考訳です。

PDFの閲覧には「ユーザー名」「パスワード」が必要です。ご不明の場合は、各事務所またはロータリー文庫にお問い合わせください。

〒105-0013 東京都港区浜松町2丁目7番16号 第3小森谷ビル別館6階
TEL:03(3433)6456, FAX:03(3459)7506

Sequence

5 2025-26年度 地区大会のお知らせ



2025-26
地区大会実行委員長
上野 一典
(宇都宮北RC)

ロータリアンの皆様、2025-26年度のRI2550地区地区大会は、県都宇都宮におきまして、二十二修ガバナー主催で開催されます。今年度のテーマは「交流を拡め、友情を深めよう。」です。この度の地区大会は、日本全国はもとより海外からのお客様も多数お迎えし、姉妹地区提携調印式も予定されており、国際色豊かな大会になるものと期待されます。

二十二修ガバナーは、私ども宇都宮北ロータリークラブとして3人目のガバナー輩出となりました。また本年度は、当クラブにとりましても、創設40周年の記念すべき年であり、会員も二重の喜びであふれております。

皆様ご存じのように、宇都宮には、多くの誇るべき名物がございます。

●「カクテルの街」

(=カクテル日本一に輝く多くのバーテンダーを輩出)

●「餃子の街」

(=消費量日本一を争う おいしい餃子)

●「JAZZの街」

(=JAZZトランペッター渡辺貞夫さんは宇都宮のご出身)

どうかいろいろな当地ならではの雰囲気をご堪能いただき、楽しい思い出をお持ちかえりいただければと存じます。

宇都宮北ロータリークラブ会員をあげて、おもてなし致しますので、ぜひお越しください。

“宇都宮で お会いしましょう。”



地区大会PR動画

Sequence

6 地区大会の概要

9/26(金) 記念ゴルフ大会 □会場／宇都宮カンツリークラブ

9/27(土) 会長・幹事会/地区指導者育成セミナー/RI会長代理ご夫妻歓迎晩餐会 □会場／ベルヴィ宇都宮

●会長・幹事会

13:00 受付・登録開始
開会・点鐘
国歌並びにロータリーソング斉唱
開会の言葉
RI会長代理並びにご来賓の紹介
ガバナー挨拶
RI会長代理ご挨拶
地区会計収支報告、監査報告、承認
2024-2025年度各種表彰
米山記念奨学会及びロータリー財団
14:45 閉会

●地区指導者育成セミナー

15:00 開会
ガバナー挨拶
地区ラーニングファシリテーター挨拶
並びに育成セミナー講師のご紹介
講演 RI会長代理
質疑応答、謝辞
16:30 閉会・点鐘

●RI会長代理ご夫妻歓迎晩餐会

17:00 受付・登録開始
RI会長代理ご夫妻入場
開会の言葉
歓迎の言葉
RI会長代理ご夫妻・ご来賓紹介
ガバナー挨拶
RI会長代理ご挨拶
乾杯・祝宴
手に手つないで
20:00 閉会の言葉

オープニングコンサート
倉沢大樹 & JAZZカルテット(ハッピートーク)



倉沢大樹 & JAZZカルテット(ハッピートーク)

倉沢大樹 [ピアノ]

宇都宮市出身。1995年より毎年、ヤマハ音楽出版より作品集を出版するなど、アレンジャーとしても活躍。1998年長野冬季オリンピックでは、長野市内の「セントラル・スクエア」において行われた、スキー競技など屋外競技の表彰セレモニーの際のすべての演奏を担当。オリンピックを華やかに盛り上げた。1999年には、エレクトーン発売40周年を記念して発売したオムニバス版CDアルバムに、現在第一線で活躍中のエレクトーン・プレーヤー12人中の一人として参加。[Well you needn't]「朝日のようにさわやかに」の2曲を収録。マリリン、デュークエイセス、島田歌穂、PONTA BOX、大坂昌彦、東原力哉などと共演。現在は、全国各地でのデモ演奏やコンサートのほか、地元宇都宮では、ライブハウスでジャズ・ピアニストとしても活動中。

【ハッピートークプロフィール】

●フルート 稲見郁恵 宇都宮市生まれ。上野学園短期大学音楽科(フルート専攻)卒業。オーストリアに4年間留学。首都圏に於いて各種イベント、ホテルラウンジ、パーティー演奏、チャペル演奏等、クラシックをベースにポピュラーから民謡ユニット、JAZZまで多彩な演奏活動を行っている。●テナーサクソ 岡田嘉清 栃木県小山市出身。幼少より音楽に触れ大学からビッグバンドにてサクソをはじめる。ジャズの良き時代50、60年代を彷彿とさせる正統派なバップサウンドを持ちジャズ親父カラーの異名を持つ。またその音色をいかしたバラード、歌の伴奏の評価は非常に高い。●ベース 野中英士 栃木県高根沢町生まれ。ルーツ音楽院ベース科卒。東京芸術大学別科コントラバス専攻修了。現在はジャズグループでの演奏を中心に、コントラバスソロ(ジャズ&クラシック)にも情熱を傾けている。コンサート、ライブ、レコーディング、後進の指導などジャンルを越えて幅広く活躍中。●ドラム 青木孝之 宇都宮市生まれ。音楽専門学校時代は故・日野元彦氏、本田珠也氏に師事。現在、県内外でライブハウス、ホテル等で活躍の他、後進の指導にもあたっている。

9/28(日) 青少年の集い/地区大会 本会議 □会場／ライトキューブ宇都宮

●青少年の集い

9:30 開会の言葉
歓迎の言葉
ガバナー挨拶
ご来賓・地区外ロータリアン紹介
趣旨説明
アイスブレイク
講演
パネルディスカッション
休憩
対話
対話の共有
総評
閉会の言葉
11:40 集合写真

●地区大会 本会議

12:20 受付・登録開始
RI会長代理ご夫妻入場
開会・点鐘
国歌並びにロータリーソング斉唱
物故者に対し黙祷
開会の言葉
歓迎の言葉
RI会長代理紹介
ご来賓・地区外ロータリアン紹介
ガバナー挨拶並びに地区現況報告
RI会長代理挨拶並びにRI現況報告
大会委員会報告並びに上程
登録委員会・資格審査委員会
決議委員会・大会決議案採択
選挙管理委員会

記念講演
公益財団法人 結核予防会
理事長 尾身 茂
「ポリオ根絶ーロータリーの期待と感謝ー」

来賓祝辞

栃木県知事 福田 富一様
宇都宮市長 佐藤 栄一様

記念事業目録贈呈

①栃木県 輝くとちぎの人づくり推進基金へ
②宇都宮市 宮っこの居場所づくり事業へ
③ロータリー財団
④米山記念奨学会
RI会長代理祝辞
ガバナー補佐紹介
地区内参加クラブ紹介

各種表彰
記念品贈呈
RI会長代理ご夫妻・直前ガバナー・
地区幹事・直前会計長
ガバナーエレクト・ガバナーノミニ紹介
ガバナーエレクト挨拶
ガバナーノミニ挨拶
次期地区大会開催ホストクラブ
代表挨拶
RI会長代理所感
ガバナー謝辞
閉会の言葉
閉会の点鐘

●アフターパーティー

17:30 開会の言葉
乾杯
歓談
18:30 中締め



記念講演 講師

尾身 茂 Shigeru Omi

生年月日 1949年6月11日

現 職 ・公益財団法人結核予防会 理事長、代表理事
・名誉世界保健機関(WHO) 西太平洋地域事務局長
・独立行政法人 地域医療機能推進機構 名誉理事長
・自治医科大学名誉教授
・日経・FT感染症会議 議長
・ロータリー・ポリオ根絶大使

【職歴】 1967年:東京教育大学附属駒場高等学校(現在筑波大学附属駒場高等学校)に在学中にAmerican Field Service(AFS)の交換留学生として、1年間アメリカに留学。1978年:自治医科大学卒業(一期生)。1978-1987年:東京都立墨堤病院に於いて多科ローテーション臨床研修修了後、伊豆七島を中心に地域医療に従事。1987-1989年:自治医科大学予防衛生学教室助手。1990-1998年:WHO西太平洋地域事務局にて拡大予防接種課長、感染症対策部長などを歴任(西太平洋地域の小児麻痺根絶対策などで陣頭指揮)。1999年2月:第5代WHO西太平洋地域、地域事務局長(SARS:重症急性呼吸器症候群の制圧及び各加盟国の地域医療対策や結核対策等で陣頭指揮)。2009年5月:日本政府新型コロナウイルス対策本部専門家諮問委員会委員。2014年4月-2022年3月:JCHO理事長。2016

年6月:国際健康危機タスクフォースのメンバー(国連総長からの要請) 2020年2月:新型コロナウイルス感染症対策専門家会議副座長。2021年4月:新型インフルエンザ等対策推進会議新型コロナウイルス感染症対策分科会分科会長。2022年4月:公益財団法人結核予防会代表理事、JCHO名誉理事長。2022年6月:公益財団法人結核予防会理事長、代表理事 現職
【著書等】 ◎『パンデミック(H1N1)2009ー我が国の対策の総括と今後の課題ー』公衆衛生Vol.74(8)医学書院 2010 ◎『医療の輪が世界を救う』『(医の未来)』(2011岩波新書・矢崎義雄編)第5章 ◎『WHOをゆく』医学書院 2011 ◎『1100日間の葛藤 新型コロナ・パンデミック、専門家たちの記録』日経BP 2023

トップページへ
戻ります



2025年9月号 No.1

発行：Region 1, 2 & 3
RMC, RPIC, RRFC, E/MGA, EPNC
行動計画推進リーダー
国際大会推進チーム

第1地域 恒久基金/大口寄付アドバイザー 森川 昭正（仙台宮城野 RC）

去る2025年4月27日～29日の3日間、エバンストンにある国際ロータリー本部において、2025年度グローバル・フィランソロピー・セミナー（GPS ; Global Philanthropy Seminar）が開催されました。このGPSは新しく就任するE/MGA（恒久基金/大口寄付アドバイザー）及びEPNC（ポリオ根絶コーディネーター）を対象としたセミナーで、今回は世界各地域の2025-26年度から就任する次期E/MGA;20名、次期EPNC;16名が参加しました。

E/MGAがロータリーの地域リーダーの一つの役目として初めて任命されたのは2013年です。その後、日本の3地域で基本的に3年おきに1名ずつが任命されてきました。第1地域では私が5代目のE/MGAとなります。

今回のセミナーは、自身がガバナーエレクトとして参加した国際協議会以来のグローバルなセミナーで、かつ、世界のロータリーのトップリーダーの多くに出会い、交流するという大変貴重な経験でした。

ロータリー会員であれば多くが憧れるロータリー発祥の地シカゴ近郊にある”ロータリー国際本部”。

ポール・ハリスら4人が初めて会合を開いた部屋が再現されたOne Rotary Centerの1階にある当時のポール・ハリスの事務所前には、ポール・ハリスの銅像が出迎えてくれている様に立っていました。

2日半のGPSでは、E/MGAとして今後どのように活動していくのか、いかなければならないのかを学びましたが、大きく以下の3つのことを学びました。

その一つはチームワークの大切さです。恒久基金/大口寄付の寄付者に限らず、財団への寄付への理解、促進するためには担当する地域、地区のRMC、RRFC、EPNC、RPIC、地区ガバナー、地区財団委員長、恒久基金/大口寄付小委員会委員長などとの連携が必要であり、また、前任者や他地域の関係者との連携も大事であることを学びました。二つ目としてはエンドポリオ、恒久基金/大口寄付への理解促進のためにはストーリーが大切であるということです。自分の経験から自分の言葉で伝えることの大切さを学びました。そして3つ目はロータリーが提供しているツールを十分に利用することです。E/MGAとして閲覧権限を与えられるデータについても関係者と情報を共有しつつ、寄付者へのアプローチに繋がれるように検討していきたいと考えています。

また、GPS全体として感じたことは、主催している側も参加している側も、みんながフレンドリーで自由に発言でき、共感する雰囲気が出来上がっていたことです。そのお陰で、自分なりに各セッションの討議において積極的な発言ができたと思います。

このセミナーで学んだことを活かし、3年間の責務を全うできるように務めたいと考えていますので、どうぞ皆様のご指導ご鞭撻、そして何よりも大口寄付へのご協力をお願いいたします。



コーディネーター
NEWS

2025年9月号 No.2

発行：Region 1, 2 & 3
RMC, RPIC, RRFC, E/MGA, EPNC
行動計画推進リーダー
国際大会推進チーム

私たちの生き方のエンブレム

第2地域 ロータリー公共イメージコーディネーター 神野 正博（七尾 RC）

去る7月13日(日)に、毎年恒例の3地域合同公共イメージ向上セミナーを実施し、100人以上の各地区のリーダーに参加いただきました。信頼の証としてのエンブレム、すべてのロータリー活動が公共イメージ向上につながることを、そして広報と公共イメージ向上の違いなどのお話と、公共イメージを向上する5つの事例の発表をいただきました。終了後のアンケートで、全体としては高評価であったものの、フリーコメントで、「地区の活動の参考になるように事例を多くしてほしい」旨の内容が多く、今後の参考にしていきたいと思います。

このセミナーを踏まえ、公共イメージ向上を一言で言えないか考えて見ました。ロータリー会員の皆様は、ロータリーにどんな人がいて、そして、成りたいロータリー会員像をイメージできるはずです。しかし、一般の人々はもちろん、これからロータリークラブに入会しようとする人々にそれが伝わっているのでしょうか。そして、ロータリーのエンブレムを見たときに人々は何をイメージできるのでしょうか。人々は、ロータリーを世界で、日本で、地域でよいことをしている組織と認識してくれているのでしょうか。ポリオ根絶を目指す、平和を構築する、DEIを大切にする、環境問題を考える、貧困問題を考える、青少年をエンカレッジしている、海外からの留学生を支援している、リーダーシップを涵養しているなど、、、の組織と認識してくれているのでしょうか。ロータリーのエンブレムを見たときに、信用・信頼という言葉が出てくるのでしょうか。

もし、そうではないのならば、それを作り出すための奉仕と公共イメージ向上戦略が必要になるに違いありません。なぜならば、私たちはロータリー会員として、この組織に所属している意義と誇りをもちたいからなのです。

そういった意味で、私たちが創り出さねばいけないのは、ロータリーのエンブレム＝信頼の証なのではないでしょうか。あのエンブレムのラベルボタン、旗を見たら「信頼に足りる人たちだ。」と認識されるために、私たちはイメージを向上させる取り組みを人に見せ、一人一人が仕事で、日常で、そして奉仕で実践すべきなのです。まさに私たちの生き方、そのものになるのかもしれませんが。

トップページへ
戻ります



コーディネーター NEWS

2025年9月号 No.3

発行：Region 1, 2 & 3
RMC, RPIC, RRFC, E/MGA, EPNC
行動計画推進リーダー
国際大会推進チーム

第3地域 ロータリー会員増強コーディネーター 中川 基成（あすか RC）

これをお読みのシニアロータリー会員の皆様が、あらためてロータリーのことをあまり知らない方々にロータリーへの入会を勧誘される場合どのようなお話をされるでしょうか？ また、入会したもののロータリーに馴染まず退会を検討される方々には、どのような話をされるでしょうか？ どちらも特別な個人事情もありますので、簡単な話ではないと思います。ましてや、ロータリーに対して誤解や思い込みなどがありますと、それを解いて正しく理解していただくのに苦労します。

その際に、最も大事にしたい基本的考え方は、つまるところ Enjoy Rotary ではないかと思えます。では、ロータリーを楽しむとは具体的にどういうことでしょうか？

私は、ロータリーを学び、行動し、発信することを下の循環図のようにロータリー活動の中にとどまらず、それぞれの職場や家庭や生活の中で回していくことであり、ロータリーを楽しみつつロータリーの中核的価値(Core Values)が増大していくことと考えます。(この Core Valuesこそ正しく理解する必要があるのですが、ここでは紙面の関係上、私の解釈は省きます。)

ロータリーを通じて人としての生き方を学び、様々な奉仕を通じて地域社会や世界の平和に貢献して、ロータリーの価値に共感する仲間を増やしてロータリーの奉仕の輪を広げていくことができればロータリー活動は何と楽しいことでしょうか。



もう一つ、ロータリーを語るうえで大事にしたいことは、ロータリーのビジョン声明をよく味わい、その重要性を理解することだと思います。

Vision Statement:

Together, we see a world where people unite and take action to create lasting change—across the globe, in our communities, and in ourselves.

「私たちは、世界で、地域社会で、そして自分自身の中で、持続可能な良い変化を生むために、人びとが手を取り合って行動する世界を目指しています。」

今年の会長メッセージ “Unite for Good” はこのビジョンの核心を端的に言い表したものです。

自分自身や自分の所属するクラブや会社・組織の中で良い変化を生み出すことに取り組むことで、より魅力あるロータリーを体現できるならば、それに共感する人々に対して、ロータリークラブへの入会勧誘や退会防止にも説得力を持って効果が期待できるのではないのでしょうか。

いずれもロータリーを語るうえで、きわめてシンプルで基本的なことですが、改めてその重要性を再認識したいものです。

Sequence

08

2025年7月会員数報告

MyRotaryより（アルファベット順）

クラブ名	2025年7月1日 会員数	2025年7月1日 女性会員数	2025年7月31日 会員数
足利	24	2	24
足利東	40	4	40
足利わたらせ	27	0	28
足利西	12	0	12
馬頭小川	15	0	15
今市	40	0	40
今市きぬ	24	0	24
岩舟	8	0	8
鹿沼	56	1	56
鹿沼東	43	7	45
烏山	13	2	13
黒磯	32	3	33
葛生	38	0	38
益子	29	3	29
壬生	15	1	15
真岡	45	0	45
真岡西	39	5	39
日光	17	4	17
西那須野	43	3	43
大田原	18	2	19
大田原中央	16	1	16
小山	21	1	21
小山中央	24	2	24
小山東	22	0	22
小山北	26	0	26
小山南	16	2	16
佐野	46	0	46
佐野東	21	2	21
下野上三川	24	3	24
高根沢	10	1	10
田沼	44	0	44
栃木	43	6	43
栃木南	35	9	37
栃木西	28	0	29
氏家	27	3	29
宇都宮	95	4	95
宇都宮90	39	5	39
宇都宮東	96	0	97
宇都宮北	43	0	43
宇都宮さつき	22	5	22
宇都宮南	56	7	57
宇都宮西	65	0	65
宇都宮陽北	63	7	63
宇都宮陽南	18	5	19
宇都宮陽東	48	10	48
45RC	1526	110	1539
<RAC>			
足利東	4		4
足利大学	14		14
蔵の街とちぎ	5		5
作新学院大学	4		4
宇都宮東	5		5
5RAC	32		32

留意事項：データの更新は、RIが受領してからレポートに反映されるまで6～7日程かかる場合があります。

トップページへ
戻ります